

## 取組事例 13

### 女性のニーズに寄り添った物資の支援（宮城県登米市）

東日本大震災後、登米市の避難所に暮らす女性を支援することを目的として平成 23 年 5 月に登米市男女共同参画条例策定委員会有志で結成された「宮城登米えがおねっと」は、同年 5 月、市内の避難所に避難している 430 名の女性を対象にニーズ調査を行った。調査に当たっては、特定非営利活動法人イコールネット仙台と登米市市民活動支援課の協力で、「パーソナルリクエスト票」という調査票を作成した。

「パーソナルリクエスト票」は 1 枚の用紙で、身長や体形、年代のほか、使用している化粧品や生理用品のメーカー、下着のサイズ等を記入してもらうこととした。中身が見えないようにリクエスト票を折って回収するつくりにして配布し、276 名から回答が得られた。パーソナルリクエスト票の配布・回収、データの整理は、市の担当職員が行ったほか、宮城登米えがおねっとが全国から物資を募る際も、市が後方支援していると情報を発信することで信頼が得られ、企業等から多くの物資が集まった。同団体では、大量の支援物資の中から、回答者一人一人のニーズに合うものを選び出し、基礎化粧品、メイクアップ用品、サイズに合った下着や生理用品、ハンドクリーム、裁縫箱などを合計 2 回にわたって配布した。